

## 高等部 国語科 学習指導案

日 時：令和6年7月10日（水）

9：40～10：30

場 所：本館2階 高等部集会室

対 象：Bグループ 6名

授業者：播磨 久美子 半田 郷子

足立 友菜 安東 康二郎

1 題材名 『クラフト工房フトク』で、手順の前後関係や様々な条件を読み取り、紙細工を完成させよう

### 2 生徒の実態

生徒の実態	
D	<p><b>【一般的な実態】</b> CA：16</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分が見聞きした出来事について、時系列で話す。</li> </ul> <p><b>【指導方法に関わる実態】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>課題の正誤を視覚的に示すと、自分で正誤を判断する。</li> </ul> <p>&lt;学びに向かう力・人間性等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>できるようになったことでも状況が変わると間違えることがある。</li> </ul> <p><b>【本題材に関する実態】</b></p> <p>&lt;知識及び技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「○と△の印がついた、紙を3枚取る」「同じ印同士を重ねる」「重ねた所をステープラで留める」などの前後関係のある三つの手順を表す文を順不同で提示し、正しい順番に並べ替えるように伝えると、順番を間違えることがある。</li> </ul> <p>&lt;思考力・判断力・表現力等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>正しい順番に並んだ手順を読んで行動するように伝えると、手順とは異なる順番で行動しようとする。</li> </ul>
E	<p><b>【一般的な実態】</b> CA：17</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>三つの場面のある文を読んだ後、「～の前は、何をしましたか」などと尋ねると、該当する場面の内容を正しく答える。</li> </ul> <p><b>【指導方法に関わる実態】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>間違ったことに気づくと、「もう一度教えてください」などと教師に言う。</li> </ul> <p>&lt;学びに向かう力・人間性等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>状況が変わると、自分で取り組めるようになるまで時間を要する。</li> </ul> <p><b>【本題材に関する実態】</b></p> <p>&lt;知識及び技能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「①△を青に塗る ②□を赤に塗る ③○をピンクに塗る」などの順番に並んだ手順と、末尾に「ピンクがない場合は、赤に塗る」などの③の手順にかかる場合＋必要条件(～の場合は、～する)などの注意書きのある手順書を提示し、注意書きの内容がかかる箇所を問うと、手順②の「赤」の文字を線で囲む。</li> </ul> <p>&lt;思考力・判断力・表現力等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>順番に並んだ五つの手順と、文頭に「検品が終わったら、部品置き場の箱に入れる」などの確定＋必要条件(～したら、～する)の注意書きのある手順書を読んで行動するように伝えると、注意書きの行動を終えずに終了の報告をする。</li> <li>順番に並んだ四つの手順と、末尾に「赤い紙に汚れなどがある場合は、黄色い紙を使う」などの場合＋必要条件(～の場合は、～する)の注意書きのある手順書を読んで行動するように伝えると、落書きのある赤い紙を使用するなど、注意書きとは異なる行動をすることがある。</li> <li>順番に並んだ四つの手順と、末尾に「青い封筒は使わない」などの禁止条件(～してはいけない)の注意書きのある手順書を読んで行動するように伝えると、プリント2枚を重ねて折ったものを青い封筒に入れて教師に渡すなど、注意書きとは異なる行動をすることがある。</li> </ul>

### 3 題材目標

生徒	題材目標		学習指導要領の扱う内容
D	知	『クラフト工房フトク』で、紙細工の手順書を作る時、それぞれの手順の内容が表す結果の前後関係がわかり、順不同で並んでいる三つの手順を正しい順番に並べ替える	中学部 1段階 C 読むこと <b>【知識及び技能】</b> イ (ア) 事柄の順序など、情報と情報との関係について理解すること。
	思	様々な紙細工の手順を読む時、それぞれの手順の内容が表す結果を考え、手順同士の前後関係を判断し、三つ～四つの手順を正しい順番に並べ替えて手順書を作り、手順書の通りに紙細工を作る	<b>【思考力・判断力・表現力等】</b> イ 語や語句の意味を基に時間的な順序や事柄の順序など内容の大体を捉えること。
	学	手順を正しい順番に並べ替えて、紙細工を作る課題に繰り返し正しく取り組む	<b>【学びに向かう力・人間性等】</b> 言葉がもつよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合ったりしようとする態度を養う。
E	知	『クラフト工房フトク』で、紙細工を作る時、注意書きと手順との関係がわかり、注意書きの条件[確定+必要条件(～したら、～する)、場合+必要条件(～の場合は、～する)、場合+禁止条件(～の場合は、～してはいけない)]がかかる手順を線でつなぎ、すべき行動を記入する	中学部 2段階 C 読むこと <b>【知識及び技能】</b> イ (ア) 考えとそれを支える理由など、情報と情報との関係について理解すること。
	思	様々な紙細工の手順や注意書きを読む時、様々な位置に書かれた注意書きと関係する手順を考え、注意書きの条件がかかる手順とすべき行動やその有無を判断し、手順書の通りに紙細工を作る	<b>【思考力・判断力・表現力等】</b> ウ 日常生活や社会生活、職業生活に必要な語句、文章、表示などの意味を読み取り、行動すること。
	学	手順と注意書きとの関係を考えて紙細工を作る課題に繰り返し正しく取り組む	<b>【学びに向かう力・人間性等】</b> 言葉がもつよさに気付くとともに、いろいろな図書に親しみ、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

### 4 題材計画 ※資料末尾にA3別紙で記載

#### 5 本時案 (全8時間の3時間目)

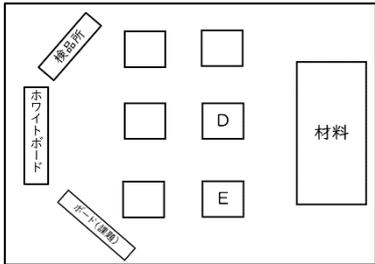
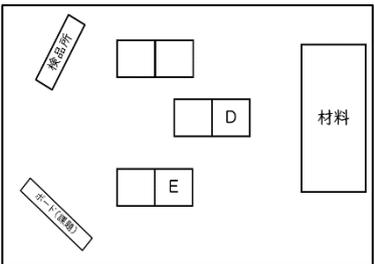
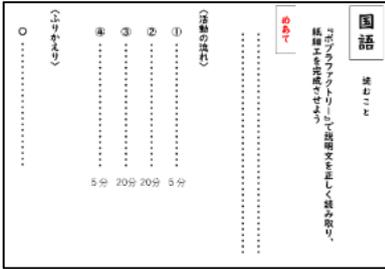
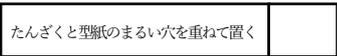
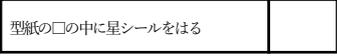
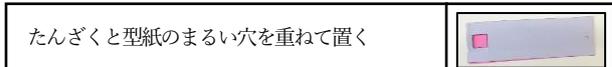
(1) 題目 『クラフト工房フトク』で、複数の手順を正しい順番に並べ替えたり、注意書きの条件と手順との関係を読み取ったりして、手順書を読み、紙細工を完成させよう

#### (2) 本時のめあてと評価規準

生徒	観点別の本時のめあて	評価規準
D	知	『クラフト工房フトク』で、紙細工の手順書を作る時、それぞれの手順の内容が表す結果の前後関係に目を向け、順不同で並んでいる三つの手順の内容が表す結果の写真を選んでそれぞれの手順の横にはった後、「つくる一と2号」を正しい順番に並べ替える
	思	
	学	A3資料「4 題材計画」に記述した具体的な姿が見られたかどうかで題材終了後に評価を行う

E	知	『クラフト工房フトク』で、紙細工を作る時、注意書きと手順との関係がわかり、注意書きの条件⑥[場合+必要条件(～の場合は、～する)]がかかる手順を線をつなぎ、すべき行動を記入する	「2. 展開」場面で扱う2問のうち2問目で、教師の支援なしで注意書きが関係する手順を線をつないだり、すべき行動を記入したりする
	思	様々な紙細工の手順や注意書きを読む時、手順の横に書かれた注意書きと関係する手順を考え、注意書きの条件がかかる手順ですべき行動を判断し、手順書の通りに紙細工を作る	「3. 発展」場面で扱う1問で、手順と手順の横に書かれた注意書きを読み、すべき行動を判断して、手順書の通りに紙細工を作る
	学	A3資料「4 題材計画」に記述した具体的な姿が見られたかどうかで題材終了後に評価を行う	

### (3) 場面設定と準備物

場面設定	
 <p>「1. 導入」、「4. 終末」場面</p>	 <p>「2. 展開」、「3. 発展」場面</p>
<p>板書計画</p> 	<p>意図と工夫点</p> <p>見通しをもって学習に取り組めるように、めあてやスケジュールをホワイトボードに示すようにした。終末では、学習したことについての理解を深めることができるように、本時で学んだことなどについて生徒が発表した内容を教師がまとめて示す。</p>
準備物	
 <p>たんざくを型紙のまるい穴を重ねて置く</p>	 <p>たんざくを1枚とり、作業台に置く</p>
 <p>型紙の口の中に星シールをはる</p>	 <p>たんざくを型紙のまるい穴を重ねて置く</p>
 <p>たんざくを1枚とり、作業台に置く</p>	 <p>型紙の口の中に星シールをはる</p>
<p>図①</p>	<p>図②</p>
<p><b>教具名：</b>手順(図①)と手順書の枠(図②)</p> <p><b>意図と用途</b></p> <p>手順の前後関係を読み取る必要性がもてるように、「2. 展開」「3. 発展」場面で手順書のそれぞれの手順を切り分けたものを順不同で提示し、正しい順番に並べた手順を手順書の枠に置いて使用する。</p>	<p><b>教具名：</b>つくる一と2号</p> <p><b>意図と用途</b></p> <p>それぞれの手順が表す内容の結果から、手順の前後関係に目を向けることができるように、「2. 展開」「3. 発展」場面でそれぞれの手順の内容の結果と対応する写真を各手順の横にはって使用する。</p>

<p style="text-align: center;"><b>【たなばた★たんざくセット】手順書</b></p> <p><small>*検査で合格したら、検査済マークを裏面に入れて、ラッピングの封を閉じる</small></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① ピンク・水色・黄色のたんざくを3枚ずつと、ひもを9本取る</li> <li>② たんざくまるい穴にひもをとおす(ひもは箱がない)</li> <li>③ ひもを通した照面を、上から、ピンク・水色・黄色の照番でかさねる(シールを上にもつける)</li> <li>④ ピンクが表にくるようにラッピング袋に入れる</li> <li>⑤ 検査所に行き、チェックを受ける</li> </ol>	<p>どっちでしょう?</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>( ) の場合      ( ) の場合</p>	
<p><b>教具名：</b>手順書</p> <p><b>意図と用途</b></p> <p>条件と手順との関係を読み取っているか確かめるために、手順の横に書いてある条件を表す注意書きとその条件がかかる手順を線でつなぎ、すべき行動を記入するために使用する。</p>	<p><b>教具名：</b>どっちでしょう</p> <p><b>意図と用途</b></p> <p>条件を表す注意書きと手順との関係を読み取った後にすべき行動を整理できるように、条件がかかる場合とそうでない場合の行動を記入する。</p>	<p><b>教具名：</b>紙細工の材料</p> <p><b>意図と用途</b></p> <p>手順書の内容を読み取る必要性がもてるように、色や形が異なるものを準備しておき、紙細工を作るために使用する。</p>

**(4) 展開 ※資料末尾にA3別紙で記載**

4 題材計画

生徒			一次	二次			三次			
	時数		1	2	3 (本時)	4	5	6	7	8
D	知識・技能	場面	説明文を読んで、紙細工を作る活動に興味・関心や見通しをもち、本題材の課題を知る	『クラフト工房フトク』で、紙細工の手順書を作る時						
		わかること		それぞれの手順の内容が表す結果の前後関係に目を向け			がわかり			
		できた姿		「つくる一と1号」を見て順不同で並んでいる三つの手順の内容が表す結果の写真を選んでそれぞれの手順の横にはった後、「つくる一と2号」を正しい順番に並べ替える	順不同で並んでいる三つの手順の内容が表す結果の写真を選んでそれぞれの手順の横にはった後、「つくる一と2号」を正しい順番に並べ替える	順不同で並んでいる三つの手順を正しい順番に並べ替える				
	思考・判断・表現	具体的状況	様々な紙細工の手順を読む時							
表出像		それぞれの手順の内容が表す結果を考え、手順同士の前後関係を判断し、三つ～四つの手順を正しい順番に並べ替えて手順書を作り、手順書の通りに紙細工を作る								
主体的な姿	粘り強さ 学習調整	<input type="checkbox"/> 自分から手順や手順書を読んだり、紙細工を作ったりする <b>展 発</b>								
		<input type="checkbox"/> 紙細工が完成するまで、手順や手順書を読んで取り組む <b>展 発</b> <input type="checkbox"/> 手順の順番を判断した理由を友だちに説明する <b>終</b> <input type="checkbox"/> 手順を正しい順番に並べ替えて紙細工を作る課題に繰り返し正しく取り組む <b>展 発</b>								
E	知識・技能	場面	『クラフト工房フトク』で、紙細工を作る時							
		わかること	説明文を読んで、紙細工を作る活動に興味・関心や見通しをもち、本題材の課題を知る	注意書きと手順との関係がわかり						
		できた姿		注意書きの条件④[確定+必要条件(～したら、～する)]がかかる手順を線でつなぎ、すべき行動を記入する	注意書きの条件⑤[場合+必要条件(～の場合は、～する)]がかかる手順を線でつなぎ、すべき行動を記入する	注意書きの条件⑥[場合+禁止条件(～の場合は、～してはいけない)]がかかる手順を線でつなぎ、すべき行動を記入する				
	思考・判断・表現	具体的状況		様々な紙細工の手順や注意書きを読む時						
表出像		文頭に書かれた注意書きと関係する手順を考え、注意書きの条件がかかる手順を判断し、手順書の通りに紙細工を作る	手順の横に書かれた注意書きと関係する手順を考え、注意書きの条件がかかる手順ですべき行動を判断し、手順書の通りに紙細工を作る(④+⑤)	末尾に書かれた注意書きと関係する手順を考え、注意書きの条件がかかる手順ですべき行動やその有無を判断し、手順書の通りに紙細工を作る(⑥+⑦)	様々な位置に書かれた注意書きと関係する手順を考え、注意書きの条件がかかる手順とすべき行動やその有無を判断し、手順書の通りに紙細工を作る(④+⑤+⑥)					
主体的な姿	粘り強さ 学習調整	<input type="checkbox"/> 手順書を読み返して、紙細工が完成するまで取り組む <b>発</b> <input type="checkbox"/> 注意書きの条件にかかる手順やすべき行動を判断した理由を友だちに説明する <b>展 発</b> <input type="checkbox"/> 教師や友だちに学習した内容についての説明をする <b>終</b>								
		<input type="checkbox"/> 手順と注意書きとの関係を考えて紙細工を作る課題に繰り返し正しく取り組む <b>展 発</b>								

※「学びに向かう力・人間性等」については、「主体的に学習に取り組む態度」の項目で観点別学習状況の評価のみを記載する。個人内評価をする部分については、授業の振り返りや個別の教育支援計画等で実施し、今後に反映することとする

(5) 展開

学習活動	教師の意図と働きかけ	
	D	E
<p>1. 本時の学習活動やめあてを知る。 導</p> <p>2. それぞれの手順の前後関係を考え手順書を作ったり、注意書きと手順との関係を読み取ったりする。(紙細工を作る) 展</p> <p>3. それぞれの手順の前後関係を考え手順書を作ったり、注意書きと手順との関係を読み取ったりして、紙細工を作る。 発</p> <p>4. 本時の成果を振り返り、次時への意欲をもつ。 終</p>	<p>○本時の学習活動に見通しをもつことができるように、本時の流れをホワイトボードに示して知らせる。 ○前時に取り組んだ学習を思い出せるように、前時で扱った手順書や完成した紙細工を示すとともに、本時のめあてがわかるように、本時で扱う課題を確認し、めあてを伝える。</p> <p>○課題に取り組み始めることができるように、本時で完成させる紙細工を知らせ、手順を読んで正しい順番に並べ替えたり、注意書きがかかる手順を確かめたりして課題に取り組むことを知らせる。 ○三つの手順の内容が表す結果の前後関係に目が向くように、三つの手順を読んだ後、それぞれの手順の内容が表す結果の写真をはった「つくる一と2号」を一緒に操作しながら手順の順番を問う。正しい順番に並べ替えることができた場合には、手順が表す結果から前後関係を捉えることができたことを認め、三つの手順や「つくる一と2号」の写真を指し示して、手順の前後関係を意味づける。 ・間違った順番で手順を並べた場合には、手順の順番の違いに目が向くように、並べた順番に沿って紙細工を作り、手順を並べ替えるように伝える。 ○自分から活動に取り組み始めることができるように、手順を読む、手順書を読む、紙細工を作るなどの活動が切り替わるタイミングで様子を見る。自分から活動に取り組み始めた場合には、自分から活動に取り組んだことを認め、『クラフト工房フトク』の注文に応えられることを知らせる。 □自分から手順や手順書を読んだり、紙細工を作ったりしているか(自)</p> <p>○様々な手順や注意書きがある手順書を読んで紙細工を作成できるように、引き続き手順や手順書を読んで紙細工作りに取り組むことを知らせる。 ○自分で「つくる一と2号」を使って三つの手順を正しい順番に並べられるように、三つの手順を読んで、手順を並べ替えることを伝えて様子を見る。正しい順番に並べ替えることができた場合には、手順を正しい順番に並べ替えることができたことを認め、「つくる一と2号」の写真を並べた順番で指し示し、手順の前後関係を意味づける。 □自分から手順や手順書を読んだり、紙細工を作ったりしているか(自)</p> <p>○学習の成果を振り返ることができるように、めあてを確かめた後に、本時で学習したことを説明したり、発表したりすることを知らせ、それらの内容について意味づけながら成果を認める。 ○次時への意欲をもてるように、本時で完成した紙細工を提示し、次時でも手順書を読み、様々な紙細工を作ることを知らせて本時を終える。</p>	<p>○注意書きと手順との関係を読み取ることができるように、手順書を読み、注意書きとその条件がかかる手順を線をつないだり、その手順ですべき行動を記入したりすることを伝えて様子を見る。注意書きとその条件がかかる手順とを線をつなぎ、その順番ですべき行動を記入できた場合には、注意書きと手順との関係を読み取れていることを認め、関係する手順に沿って紙細工を作って示し、注意書きと手順との関係を意味づける。 ・注意書きと関係のない手順に線を引いた場合には、注意書きの条件と手順が示す内容との関係に目が向くように、手順に沿って紙細工を作りながら注意書きの内容を確かめ、注意書きと関係する手順を問う。 ○友だちと一緒に課題への理解を深めることができるように、注意書きの条件にかかる手順やすべき行動を判断した理由を伝え合うことを知らせて様子を見る。友だちに理由を説明した場合には、自分が考えたことを友だちに伝えたことを認め、そのよさを知らせる。 □注意書きの条件にかかる手順やすべき行動を判断した理由を友だちに説明しているか(友)</p> <p>○注意書きと手順との関係を読み取って手順書の通りに紙細工を作ることができるように、手順書を読んで紙細工を作ることを知らせて様子を見る。手順書の通りに紙細工を作ることができた場合には、注意書きと手順との関係を読み取って紙細工を作れたことを認め、注意書きと手順との関係を読み取るよさを知らせる。 ・注意書きの内容とは異なる行動をした場合には、注意書きが関係する手順の内容を行動に移すことができるように、記入済みのすべき行動を指し示し、どの手順で行えばよいかを問いかける。 □注意書きの条件にかかる手順やすべき行動を判断した理由を友だちに説明しているか(友)</p> <p>○教師や友だちに説明をすることで、本時の学習への理解を深めることができるように、本時の学習でわかったことやできるようになったことを発表するように伝える。学習した内容について説明ができた場合には、本時の成果を認め、自分の言葉で考えを説明するよさを知らせる。 □教師や友だちに学習した内容についての説明をしているか(友)</p>